

令和 6 年 12 月 11 日

報道機関 各位

タイから教員・学生が島根大学を訪問
数理・データサイエンス・AI 教育の視察

◆本件のポイント！

- ・数理・データサイエンス・AI 教育の共有:島根大学の最新の教育プログラムを紹介
- ・多様性の促進:異文化交流による相互理解を深めるだけでなく、数理・データサイエンス・AI 教育の重要性についても学ぶ

◆本件の概要

今日の数理・データサイエンス・AI 教育は、機械学習などの分析手法を理解することに重点を置いています。本学では、人間社会の偏りに目を向け、そこから生成されるデータの偏りが分析結果にどのように影響を与えるかに重点を置いています。このような本学の教育を、タイのバンソメチャオプラヤラチャパット大学から教員 1 名と学生 7 名が視察します。

本プログラムは、科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」に採択されたものです。

◆概要内容

「数理・データサイエンス・AI 教育と多様性に関するワークショップ」

日 時:12 月 17 日(火) 13:30~16:45

場 所:島根大学 松江キャンパス 生物資源学部棟 3 号館マルチメディア演習室 1

主催者:数理・データサイエンス教育研究センター 助教 瀬戸和希

◆本件の連絡先

島根大学 数理・データサイエンス教育研究センター

助教 瀬戸和希(せと かずき)

電話:0852-32-6303

【添付資料: あり(枚) なし】